

告辞

卒業生の皆さん、御卒業おめでとうございます。卒業証書授与式にあたり、中学校を巣立っていかれる皆さんに心からお喜びを申し上げます。

保護者の皆様、立派に成長されたお子様とこの日を迎えられ、お喜びもひとしおのことと存じます。これまで賜りました本市教育への御理解と御協力にお礼申し上げますとともに、心よりお祝いを申し上げます。

さて、新しい時代「令和」が始まり、約10か月が過ぎました。卒業生の皆さんは最上級生として、新時代にふさわしい活躍を見せ、大きく豊かに成長してきたことと思います。

岩国市教育委員会では、「志高く 豊かな心と生き抜く力を育む」という教育目標を掲げていますが、ここには「志」という言葉が入っています。

卒業生の皆さん、「志」という漢字を思い浮かべてみてください。「志」という漢字には、「心」という字が入っていることに気付くと思います。この部分が、一人ひとりの気持ち、心情を表すというのは、すぐに分かることでしょう。では、「心」の上にある部分は何を表すのでしょうか。実は、この上の部分は、「出発する足の形」からできたもので、「真っすぐに歩を進める」という意味を表しています。つまり、「志」とは、「心が目標に向かって真っすぐに進んでいく」という意味になります。

皆さんは、今日、9年間の義務教育を終え、明日からそれぞれが選んだ道へと歩き出します。その道の先には、皆さんだけがたどり着ける場所があります。そこにたどり着くためには、真っすぐに強い心、「志」が必要となります。「志」とは、皆さんが、自分らしく、たくましく生きていくための原動力なのです。

もちろん、順風満帆なことばかりではありません。苦しいことも大きな壁にぶつかることもあります。皆さんの周りには、今までも、そして、これからも、励まし、支え、助けてくれる人たちがいることを忘れないでください。仲間、先生、地域の方々、家族の方々。皆さんは多くの人々とのつながりの中で生きています。

ある時は、皆さんが他の誰かを助ける側になることもあるでしょう。互いが助け合い、思い合ってこそ、人生はより豊かなものとなります。「志」という言葉には「相手を思いやる気持ち」という意味もあることを伝えておきたいと思います。

終わりにになりましたが、本日の式に際して、校長先生をはじめ教職員の皆様、保護者の皆様、地域住民の皆様、御来賓の皆様に深く感謝の意を表し、卒業生の皆さんの栄えある門出をお祝いして、告辞といたします。

令和2年3月7日

岩国市教育委員会